(件名)

アフリカ西部等でのホテル襲撃事件続発に伴う注意喚起

(内容)

【在セネガル日本国大使館からのお知らせ】

1 昨年11月20日、マリ首都バマコにおいて、1月15日、ブルキナファソ首都ワガドゥグにおいて、武装集団が、外国人が多く利用するホテルを襲撃し、その後宿泊客等を人質に立てこもる事件が発生し、外国人を含む多くの犠牲者が出ました。事件後、イスラム過激派組織イスラム・マグレブ諸国のアルカーイダ(AQIM)が犯行声明を発出しています。

(2015年11月24日付スポット情報「マリ：バマコにおけるホテル襲撃・人質事件の発生に伴う注意喚起(更新)」, 1月16日付スポット情報「首都ワガドゥグにおけるホテル襲撃事件の発生に伴う注意喚起」参照)

2 マグレブ諸国を含むアフリカ西部においては、AQIMのほか、マリを中心に活動するアル・ムラービトゥーンやナイジェリアを拠点とする「ISIL西アフリカ州」(ボコ・ハラム)、アフリカ東部においては、ソマリアを拠点とするアル・シャバーブといったイスラム過激派組織によるテロ事件が多く発生しています。今後も、アフリカ西部・東部において、首都等の主要都市に所在する外国人が多く利用するホテルがその標的とされる可能性は否定できません。

3 つきましては、アフリカ西部・東部に渡航・滞在される方は、滞在先が首都等主要都市のホテルであっても、上記のような情勢に十分留意し、テロ、誘拐、脅迫等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、滞在先の周辺の治安情勢や警備体制を改めて確認の上、万一危険が及ぶ可能性があれば、より安全なところに滞在先を移す等必要な安全対策を講じてください。ホテル滞在中も、ロビー等不特定多数の人が行き交う場所の滞在時間を可能な限り短くする、客室等からの避難経路を確認しておくなど危機管理意識を持つよう努めてください。また、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等の関連情報の入手に努め、危険な地域は避けてください。特にテロの標的となりやすい場所(多数の外国人が利用するホテル、デパートや市場、観光スポット、公共交通機関等不特定多数が集まる場所、政府・軍・警察関係施設、欧米関連施設等)を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

4 観光の場合も含め、短期の旅行や出張などの際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう、「たびレジ」に登録してください。

(詳細は<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> 参照)

また、海外渡航前には万一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

3か月以上滞在する方は、緊急事態に備え必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>)

5 テロ・誘拐対策に関しては、以下も併せて御参照ください。

- (1) パンフレット「海外へ進出する日本人・企業のための爆弾テロ対策 Q&A」
 - (2) パンフレット「海外旅行のテロ・誘拐対策」
- (パンフレットは、<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph.html> に記載。)

(問い合わせ先)

○外務省領事局領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 3680

○外務省領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2306

○外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp> (携帯版)

本件問い合わせ先

taishikan.senegal@dk.mofa.go.jp

在セネガル日本国大使館

Ambassade du Japon au Senegal

Boulevard Martin Luther King

(B.P. 3140) Dakar, SENEGAL

Tel+221-33-849-5500, Fax+221-33-849-5555